

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'97

3

月号【1日発行】

岡本善三、川村優子、室伏陽子の各氏
市民アカデミー修了者・会員の座談会
楽しい 新鮮 友人増えた
地域連帯社会の転換に向け学習



3月3日から聴講生募集

かわさき市民アカデミー

住宅・TOEIC・社労士
資格取得支援講座の募集迫る

■ほんね座談会 いまを話す

市民アカデミー修了者・会員の

岡本善三・川村優子・室伏陽子の各氏

楽しい 新鮮 友人増えた

地域連帯社会の転換に向け学習

●はりきってます グループ紹介

はがきに大きく花や野菜描く

絵手紙サークル墨の会
活発に演奏活動つづけて45年

川崎市民交響楽団

◇学習・文化情報/会員募集

●消費生活アドバイザー資格試験準備セミナー

受講者募集中

◆川崎いのちの電話 加藤登紀子チャリティーコンサート

●読者の声/ミニニュース

●編集後記/ザルツブルク・

モーツァルトウム・クワルテット演奏会

◆'97年4月入会 かわさき市民アカデミー

聴講生募集の講座一覧

◎表紙(絵)……早春の多摩川(稲田堤付近)

杉本 繁さん

(小誌は再生紙を使用しています)

資格取得支援講座の受講者募集

〈会場〉川崎市生涯学習振興事業団研修室 (小田急線新百合ヶ丘駅下車)

講座名	日時	定員	受講料 教材費	申し込み期間
宅地建物取引主任者 資格試験準備セミナー	4月19日～10月11日の毎週土曜 9時半～12時半、全22回	50人	35,000円 12,500円	3月4日(火) ～6日(木)
TOEIC (初級) 午前対策セミナー	4月26日～10月4日の土曜 10時半～12時半、全15回	25人	「午前」 「午後」 とも 20,000円 5,000円	「午前」 「午後」とも 3月11日(火) ～13日(木)
TOEIC (初級) 午後対策セミナー	4月26日～10月4日の土曜 13時半～15時半、全15回	25人		
社会保険労務士 答案練習講座	5月24日～7月5日の土曜と 7月6日(日) 13時～16時半、 全6回(5、6回は9時半～)	50人	15,000円 5,500円	3月17日(月) ～19日(水)

◆申し込みは10～17時に☎(952) 5000の川崎市生涯学習振興事業団

★「消費生活アドバイザー資格試験準備セミナー」の案内は11ページをご覧ください

知的探検に出かけませんか！

3月3日から21講座の受け付け開始

かわさき市民アカデミー 聴講生を募集

「いつまでも不況なのは、世界各国が“日本離れ”しだしたからだ」。新年早々の株安に、多くの識者がこう指摘しました。「新年度予算案が行財政改革と逆行しているので、各国が見放した」のが事実とするならば、そんな政治を選択したのは……。

世界人口の1割に当たる4億5千万人が餓死寸前か栄養失調。その人々に必要な食料は年間2千5百万ト。日本の外食産業から出る食べ残しごみは年間千万トです。

この2つの断片的事実だけを見ても、私たちがこれまでの生活をそのまま維持できるのか、維持して良いのか、が問われている気がします。かわさき市民アカデミーの21の講座は、知的探検にご案内することでしょう。ご参加をお待ちしています。

■聴講できる講座 21講座（一覧表は裏表紙にあります）

■募集定員 各講座とも、先着10～30人

■受講料 1講座7千5百円（ただし講座No.6「川崎の自然観察～春・夏編」は1万5千円、No.17「高齢者福祉～保健・医療の場から」は5千円）

■申し込み方法 3月3日（月）9時から電話で受け付け（先着順で定員になりしだい締め切り）

■申し込み先 かわさき市民アカデミー事務局（日曜休み） ☎ 044（422）3932

「いまを話す」ゲストのご推薦を
「グループ紹介」の“出前、も…

「市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く」がコンセプトの生涯学習情報誌「Stage Up」は、市民の方々に支えられ、7年目を迎えました。とくに「ほんねインタビュー いまを話す」と「はりきってます グループ紹介」は、回を重ねるごとに愛読者が増えています。

「いまを話す」ゲストの9割が読者からのご推薦で「ゲスト選考の的確さに敬服。話に感動させられ、毎号楽しみ」との励ましをいただいています。「グループ紹介」は、スタッフがグループ活動の場に行き取材します。「生き生きとした活動が手にとるよう」「私たちのグループが掲載され、会員が増え活動に張りが出た」などの反響が寄せられています。今後も2つのコーナーの自薦他薦をお待ちしています。また「学習・文化情報」は、開催場所を公共施設や川崎市内に限定せず、市民（在勤者を含む）の多様な活動を支援しています。

ご推薦・ご投稿・ご意見は、電話952-5000（代）かFAX 952-1350のステージ・アップ編集チーム（取材などで留守の場合はご容赦下さい）。

あなたの声が生きたる
ステージ・アップです

市民アカデミー 楽しい新鮮友人増えた

生産・利益第一主義
人間性破壊社会から

地域連帯社会の転換に向け学習

かわさき市民アカデミー(学長・高橋清市長)が創設されて三年半。そのアカデミー修了生・在校生三人による座談会。「会社一辺倒だった私が、アカデミーに入るのには勇気がいった。友人も増え楽しい。これが僕のこれからの人生」「専業主婦の私は、アカデミーの何もかもが新鮮で思い通りの学園生活」「個人的に一人で始めた勉強で「学んだことを地域に還元」との意識はなかつたが、地域にかかわっている」と各人が

つていいる。出席者は別項、司会は小誌・野々川千恵子。学習は市民が楽しく集まる「楽集」と言わんばかりの明るさ。その一方で、定年退職後二十年、地域で過ごす「人生八十年」へ悲観的見方も根強い。「生涯学習化で「高齢になると孤独が忍び寄る」などなど。だが、生産・利益第一主義の競争・人間性破壊の縦社会から、学びと連帯の地域・横社会へ転換の胎動が確実に始まっている。出席者は別項、司会は小誌・野々川千恵子。



岡本善三さん 1930年生まれ。造船会社を93年退職。93年、芸術コース。現在、かわさき市民フロンティア会長。



川村優子さん 1953年生まれ。高校美術非常勤講師を経て、インテリア・コーディネーター。95年、居住・福祉コース。



室伏陽子さん 1935年生まれ。OLの後、地域でピアノ教師。93年、政治・国際関係コース。川崎学OB勉強会世話人。

いまを話す

アカデミー第1期(芸術コース)修了生
岡本 善三 さん
アカデミー会員(居住・福祉コース)

川村 優子 さん
アカデミー第1期(政治・国際関係コース)修了生

室伏 陽子 さん

Vol.52

出席者

はじめに、自己紹介を兼ねて「かわさき市民アカデミー」に参加した動機をお聞かせ下さい。岡本さん 僕は高度経済成長期に造船会社に勤めていて、会社一辺倒の生活をしてきました。退職した一九九三年に「アカデミー」ができたのですが、小さいころからモノをつくるのが好きで「芸術コース」が僕にぴったりだ」と思い入会しました。

——会社人間のとき、地域への関心はあったのですか。

岡本さん 地域のことは、まるで知りませんでしたので、アカデ

ミーに入会するのに勇気がいりましたね。

川村さん 私は、商業空間の内装の設計をしています。カッコイイとか収まりが美しいという価値基準の世界なんですね。ところが、子供が生まれて、自分の目の向きが違ってきたんです。ペピーカーを押してみると段差があったり、世の中の空間は危ない所が多いのです。かっぱすような仕事ではなく、そういう方面の勉強がしたいと模索していたら「居住・福祉コース」ができたんです。

室伏さん 私、麻生区に住みながら東京志向だったんです。五、六年前に主人が市生涯学習振興事業団のチラシを持ってきて「少しは地域に役立つことを考えたなら、君が好きな法律セミナーがある。これに参加すると、地域の仲間ができると思うよ」とアドバイス。でも、参加してみても違和感を持つたのね。

——どういうことで違和感を？

室伏さん 学習経験の豊富な人もいれば、初めてグループ学習に加わった人もいたのですが、同じ市民・仲間という感じが無いというか。それで、市民デモクラシー

会社一筋と決別、勇気出し入会——岡本さん 商業空間の世界から地域空間へ——川村さん 東京志向捨て、市民民主主義を——室伏さん



生涯学習の楽しさや課題について話しあう
室伏陽子さん、川村優子さん、岡本善三さん
(左から)

の基礎的勉強をしようと「政治コース」に入ったのです。

——カルチャーや市民館の講座もありますが、なぜ市民アカデミーを選んだのですか。

岡本さん アカデミーは、市民館の講座とはちよつと違う部分があります。篠原一・アカデミー学長代行が「アカデミーは、骨太な学習機関でなければいけない。学ぶことと行動を一緒にできるような」と話していますが、僕が定年退職して、そこにアカデミーがあったからかな(笑)。

川村さん 私もそうですね。大学の聴講や社会人入学を考えましたが、場所的に遠く授業料も高い居住・福祉コースができたタイミングがとてよかったです。

室伏さん かなり前、新聞で篠原さんの「地方分権」の論文を主人と一緒に感動しながら読んだのね。講師にも魅力を感じて。

——実際に参加していかがでしたか。

室伏さん “目から鱗うろこがおちる”というのかしら、どの講義も新鮮で素晴らしい。すべてに興味があり、生き生きとした思い通りの学習生活でした。難しいと思っ

た政治も、実は生活に密着しているの、井戸端会議のようにワイワイ話す。今では、政治が一番簡単と思っています(笑顔で)。

川村さん 私は、残念ですが思い通りではなかったんです。自分の求める課題とは違い、中途半端な印象でした。初めての試みで、担当者の方も試行錯誤があったのでは。ただ「人間学」の内山節先生のお話にとても感銘し、私も目から鱗うろこでした。今まで、自分が焦ったり、苦しんでいたことの根本的な部分に目を向けることができて、本当に素晴らしかったです。

岡本さん 僕は、今でも芸術コースを続けています。本当に入っ

てよかったなと思います。

——印象に残っていることは？

岡本さん 一昨年、ゼミの西田秀穂先生や仲間とヨーロッパの美術館巡りに行ったことですね。それと篠原特別ゼミの「世界」(岩波書店)の論文集の勉強です。僕は韓国に関する論文を選びましたが、それぞれの会員が文献を調べて、活発に意見交換ができました。それがカルチャーとは違うアカデミーのよさだと思いますね。

室伏さん ゼミは素晴らしかつ

過去の役職誇示の男性も変化 頼る気持ち仲間づくりで克服 横社会に来て最初は戸惑いも

室伏さん

川村さん

岡本さん

た。私がワープロをやり始め、それでレジュメも作れるきっかけもなりました。ゼミによって、自分が主張する前に、人の意見を聞くという習慣ができ、話し方や

ディスカッションの方法も学べたと自覚しています。また、民主主義の基本や姿勢が育てられたと思います。

川村さん 私たちのゼミは、そこまでいかなかったですね。図面や改造などを具体的に教えるという構成でしたので。私も「実践的なことを教えてほしい」との強い気持ちがあります。たとえば、段差を何々にするとか。会員の意識とアカデミーの意図にズレがあっ



川村さん

た感じも。お二人のように「楽しかった」といえる講座だったら、緊張感があつただろうなと。

室伏さん 大勢いい仲間ができたことも生涯学習をして良かった点です。実は数年前、主人が急死しまして、そのとき、精神的衝撃を受けた私を仲間が助けてくれて。そして、私が「立ち直れるか」と親身に心配してくれたの。遠い親戚よりも、頼りになるのは地域の仲間だと実感しました。

岡本さん 私もアカデミーに入ってから、異なった考えを持った友達が多くなりましたね。女房からは「会社にいる時より忙しいみたい」といわれるほどです。「退職すると、年賀状が少なくなり寂しい」と、会社のOBが話していましたが、私は逆に多くなっています。町内では絵画のグループをつくり、アカデミーもふくめて「これが僕の次の人生かな」という気がしますね。

室伏さん 本場にそうね。

「アカデミーに入るのに勇気がいった」岡本さんですが、今は充実感いっぱいですね。生涯学習を通して、自分自身がどう変わったのか、お話し下さい。

岡本さん 会社という縦社会です。つまり人間が、いまは横社会で自然体で生きている感じです。偉いとか、上下関係がないのが横社会。最初は戸惑いしましたが、だんだん慣れてきたかな。うん。



岡本さん

室伏さん 男性は、いろんなものを背負ったまま、アカデミーに入ってきたら、会社での役割や経験を誇示する方もいますね。その方は意識していないのではありません。威張っている感じね。女は拒否反応を示しちゃうの。「ここは市民同士が勉強する場よ。視点を変えて」と。でも、それを短期間に察知して、穏やかな態度になる方がほとんどね。その方の奥様

から「主人が女性の立場を理解するように頑張って」と、感謝されて(笑)。グループ学習で大事なことは「同じクラスメートという意識」なんですね。

楽しいエピソードですね。学ぶ立場は同じ、肩書のない市民社会と頭では理解していても、なじめない定年後の男性の共通の心理かもしれませんね。

岡本さん 私は「昔のことはもういい、今が大事」と思っています。アカデミーで学ぶことで縦社会の悪習を払拭したいと思っています。それから、アカデミーで女性の素晴らしさをすごく感じましたね。

川村さん 仕事・会社は、目的に向かってコミュニケーションをとりますから明快です。アカデミーは、その明確さがなくて、良い点なのですが、グループで何かをやる場合、グチャグチャになったり、だれかが突っ走ったり、いろんなことをはらんでいます。私自身、もう面倒だから打ち切りました。一人がいいと思うこともありません。でも、自分が触れていない世界の人たちと共通点を見付け、一緒に勉強できるような自分

自身の人間性を育てたい、と最近感じるようになりまして。そういう点が変わってきたのでしようね。

——ところで「学ぶ」とひと口にいつても、知的欲求を満たす、生活や仕事に役立てる、地域活動の実践に結び付けるなどの側面があると思うのですが。

室伏さん 学んだことが、いい形の市民運動につながるような感じがあります。川崎市の予算の



室伏さん

読み方を勉強して、市全体のこと分かり出し、市民の責任が見えてきた感じ。市民運動に参加する自分の姿勢が問い直された気がします。行政と市民の立場も分かると同時に、行政へのチェック機能も果たせると思います。

川村さん 私のどこかに、だれかに教えてもらいたいという気持ちで随分あったんだな、と気付いてきました。講義の内容は、自分の考えの再確認という感じだった

ので、むしろ自分で調べ研究し、同じ関心を持つ仲間を自分から積極的に探さなければいけなかった、と思っているところです。

岡本さん 勉強は、どちらかというと受け身だと思うんですね。学習を続けているうちに「何かやりたい。何かを究めたい」という気持ちが出てくるのです。学んだことが、人の役に立つことにつながれば、自分の励みと喜びになります。アカデミー修了生有志で、

「かわさき市民フロンティア」というNPO（非営利事業）の会をつくり、自主企画講座などを行っています。現在会員は五十人です。

——自己実現もふくめ、学習がいろいろな形で発展していますね。

室伏さん 私は、地域デモクラシーを一番大事にしたいの。麻生市民館で仲間づくりをして、平和人権セミナーの企画委員になり、アカデミーの体験ができればと。

川村さん 私は、習ったことが、自然にまとまってきた感じ。福祉機器やバリアフリー（障壁除去）

技術習得講座充実も

の対応など、設計上の助言ができて、そうす。アカデミー学園祭で、器具装着をした高齢者疑似体験を実施したのがきっかけで、アカデミーのメンバーが、高齢者シミュレーターインストラクターの資格を取り、グループを作ったんです。岡本さん 僕も高齢者疑似体験をしたけど、階段上るの大変。

川村さん 「学んだことを地域に還元しよう」との意識は無かったのに、地域とのかかわりが出ている感じです。

——最後に、生涯学習やアカデミーについてのご意見をどうぞ。

岡本さん 今、やっていることを四十代に始めていたら、どんなに良かったか。定年後も続けられる路線を若いうちから持つ生き方をしなければと思います。そのためには、上日や夜間の講座を設けて、企業にも働きかけ、若いうちから勉強できる場を保障するシス

テムが必要です。行政・市民が知恵を出し合い早急に構築しないと。

室伏さん 本当ね。若い人も入れるアカデミーにしないと。アカデミーの会員が、川崎発信のラジカル・デモクラシーを実践できれば、素晴らしい市民の「場」が生まれると思うの。新しいグループがどんどん育つといいわ。

川村さん 具体的な技術や知識を習得する講座の充実も必要です。若い方は、そういう学習を求めているんです。それに加えて「アカデミーでの勉強が、人間的つながりを生み、さまざまな年代の市民が過ごしやすい地域になる」と、経験をされた先輩がアドバイスをして下さったらいとおもいます。それと、アカデミーの校舎があるといいですね。他のコース会員と接触できないのは残念です。

岡本さん 福祉などの実学的コースをもっと増やしてほしい。それと、美術館の説明員や図書館の資料整理などは、ボランティアを公募して、みんなが楽しく働けるように。コストも安くすみます。

土日・夜間講座充実で若者に門戸を

題字は高橋清・川崎市長
構成／野々川千恵子
文責／田中 園

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学びの 活動する 仲間をみつめる



美線と"にじみ"の 心と和ます市民芸術

はがきで大まか花や野菜描く

絵手紙サークル墨の会

「下手がいい、下手でいい。それがモットー。だからみなさん、気が柔だと。筆で心を、その人らしさを伝えるのが絵手紙です。」

「絵手紙サークル墨の会」―金子絹子代表ら四十人―の講師・遠藤和子さん(57)は柔和な顔をほころばせ、絵手紙の魅力を語る。

例会は第一・第三の木曜の午後、川崎区の市労働会館会議室で。和紙のはがきに季節の花や野菜、さまざまな身の回りのモノを描く。基本となるのは筆づかい。背筋を伸ばし筆の上部を持ち、穂先を利かせてゆつくりと描く。ポイントは、モチーフの省略と、はがきいっぱい大きく描くこと。筆に神経を集中させ、腕を大きく動かすような感じで描く。どの顔も真剣そのものだ。

「色は、薄い色からはじめ、筆を置くように、ときには、たたくように塗ります。白を生かすことも大切です」と遠藤講師。ひと味足りない感じがするんですが「はがきを見せる会員に「食、食べ物や果物はよりおいしそうに。花はより美しく」と言いながら一筆、色を差す。すると絵が生き生きとして、会員の顔がパツと輝く。

仕上げに、作者の思いを込めた短い言葉を添えて「市民芸術」の出来上がり。曲線が微妙に調和しあい、墨や色かにじむ絵はがき。それを手にすると、不思議なくらい心が和む。そして、言葉だけでは伝達できない作り手の心のぬくもりを受取人に感じさせるようだ。

「絵を描くことから遠ざかっていた人も、気軽に描けるのが絵手紙」と会員は笑顔で話す。

同会は、二年前、日本絵手紙協会代表の小池邦夫さんに師事した遠藤さんが知人に呼び掛け発足。かわさき市民まつりでの展示やクチコミで仲間が広がった。

会長の金子さんは「生涯の楽しみです。もっと、うまくなったらボランティアとして手ほどきしたいですね」と意欲をのぞかせる。

「モチーフとの真剣勝負の気持ちで描いてきたら、自分の型ができて」と話すのは森俊雄さん(66)。入会三年目の石川幸子さん(43)は「初めて大きな作品に挑戦し、より楽しさが増えました。ライフワークとして続けたいですね。」

加藤佳子さん(62)は「ステージ・アップ」の表紙を切り抜いて絵手紙の参考にしていきます。例会で皆さんの作品を見て勉強、一男の嫁との絵手紙「通信」が楽しみです」と話す。

連絡先は川崎区本町二の二の七〇四。☎(211)4941の遠藤講師宅。

文／小誌・野々川千恵子
カメラ／小誌・山本綾子

はりきってます グループ紹介

活発に演奏活動つづけ45年

川崎市民交響楽団

毎週月曜の夜、京急八丁駅そばを通るとオーケストラの迫力ある音楽が聞こえる。

「川崎市民交響楽団」(団長・内海榮一郎新川橋病院長、団員・八十五人)の県川崎地区行政センター大会議室での練習。心に響くアンサンブルを満喫。学生から七十代と年齢層も幅広い。

この日は、三月三十日午後二時開演の「さいわいファミリコンサート」に向け、ロッシーニ「ウイリアム・テル序曲」、アンダーソン「ブルータンゴ」、「踊る子猫」などの名曲を熱心に練習。

指揮者の野内光明さんが指揮棒を構え合奏が始まる。両腕を微妙に動かし音色を表現するオーボエの男性。楽器を耳に近付け、響きを確かめるようにバイオリンを弾くお年寄り。「微妙に音程に差があるかな」「ちよっと高いか」と団員たちが自主的に音をそろえる。「ラッパ吹きの手日」では、難

しいリズムの場面を、パートごとに弾くなど集中して練習。野内さんが「落ち着いて、急がないで」と団員にアドバイス。「借金取りに

追われているようなラッパ吹きだな。休日を楽しもう」と冗談交じりの注意に爆笑が起きる。和やかなムードで練習が進み、心地よい澄んだ響きの音色になる。団員たちの体が気持ちよく揺れ、表情にも余裕が感じられる。

川響の演奏活動は活発で、毎年二回の定期演奏会を開き「かわさき市民第九コンサート」や室内楽

溶けあう音色で
広がるクラシックファン



研究発表会などにも参加している。この十月が、川響創立四十五周年。数人の音楽好きの市民と市教委が協力してスタートさせたが、「川響の演奏を聴き、クラシックファンになった」という市民も少なくない。

鈴木浩司さん(62)は、「いい演奏とは、ノーマスで弾けた時ではなく、団員の気持ちが一つになつて音楽表現できた時で聴衆も感激してくれる」と熱っぽく話す。

入団して一年弱の大越晴子さん(25)は「毎週合奏できてうれしい。おばあちゃんになつても続けたい」と心底楽しそう。

新保邦明さん(37)は「歴史があり音楽の中身がある演奏と自負。廃盤の名演奏を聴いた方もいて学ぶことが多い」と目を輝かせる。

事務局長の中西嘉雄さん(68)は「川響を聴いたのがきっかけで、クラシック音楽好きが広がったと思う。生涯学習は楽しむことが大切」と話す。

連絡事務所は幸区戸手本町一の一五。☎(522) 6941の同事務局長宅。

文／小誌・山本 綾子
カメラ／小誌・野々川千恵子

仲間と楽しむ音楽の活動を知りたい

学習・文化情報

ききたい音楽がある

ステージ



「合唱団リベルテ演奏会 ◆エポックなかはら」3月30日(日)14時開演。武満徹「うた」より▽近現代フランスのア・カペラ作品集▽問宮芳生作品より他。指揮は國廣朝美、客演指揮は中館伸一。写真は昨夏のコンサート。全席自由700円。

問い合わせは ☎(935) 0076の遊佐さん。

「県立多摩高校合唱部定期演奏会 ◆麻生文化センター」3月26日(水)18時15分開演。全日本合唱コンクール

全国大会で演奏した「春愁三首」「人間の顔」よりVIII Liberte」▽「クレイの絵本第1集」。男声・女声合唱あり。無料。問い合わせは ☎(911) 7107の同高校。

「ドッテテ ドッテテ

ドッテテド 賢治のトランク ◆麻生文化センター」3月16日(日)13時半開演。出演はデフ・パベツトシアター

・ひとみ。全席自由大人2千円、子供千200円。先着4百人。問い合わせは ☎(833) 7562の「音

と動きと響きの世界」実行委(菅原陽子代表)事務局。

「①横山幸雄(写真)ピ

アノリサイタル」シヨパン

コンクール第3位から6年

②柳貞子スベインを歌う ◆

糞ホール」①は3月10日(月)。

市外局番のないものは044



ベートーベン「ソナタ第17番 テンペスト」▽シヨパン「24のプレリュード(全

曲)他②は4月2日(水)。セビリヤーナス(ロルカのアングタルシア民謡)▽鳥の歌(カタルーニャ民謡)▽アルベニス「グラナダ」他。ピアノは窪田由佳子。いずれも19時開演、全席自由4千円。問い合わせは ☎(812) 6090の同ホール。満ノ口駅下車。

「スプリングコンサート

くチャイコフスキーのタベ

◆市教育文化会館」4月4日(金)18時半開演。演奏は読

売日本交響楽団。指揮は梅

田俊明。チェロ独奏は向山

佳絵子。曲目は交響曲第6

番「悲愴」▽ロココ風の主

題による変奏曲▽幻想序曲

「ロメオとジュリエット」。無料。対象は市内在住在勤

ギャラリー

在学の小学生以上。定員は千八百人(抽選)。申し込みは3月14日(金)までに往復はがきに希望者(一枚に2人まで)の住所、氏名、電話番号と、返信用にもあて名を記し〒210川崎区駅前本町12の1タワーリパーク3階、市文化財団・同コンサート係 ☎(222) 8821。

「スナック喫茶」3月

1日(土)15日(日)TPCクラ

ブの写真展▽15日(土)29日

(土)磯野良吉が写したキプロ

スの写真展▽29日(土)4月

12日(土)坂本隆生個展。クロ

ツキーの人物画を展示。 ☎(544) 0507。鹿島

田駅下車。

「市市民ミュージアム」

3月18日(火)4月15日(火)マ

リー・ローランサン展。

挿絵本を150点▽4日(火)6月8日(日)向秀男の広告美学。日産、ヤマハなど企業の広告、ポスター、新聞・雑誌広告を180点▽3月23日(日)まで、読売国際漫画大賞受賞作品展覧会。1万点以上の応募作から、テーマ・自由課題・ジュニア部門の上位入賞作を60点▽6月8日(日)まで、濱谷浩の世界(2)「見てきた中国」「アメリカ、アメリカ」など海外の写真を展示。観覧料は「ローランサン展」開催中は一般700円、小・大学生300円▽他は一般300円、小・大生100円。 ☎(754) 4500。

「画廊ランプ屋」3月7日(金)15日(土)長林保子被膜七宝創作展。新しい色、造形のイメージチェンジのアクセサリーから大作まで▽19日(水)29日(土)版画・水彩等の常設展。 ☎(945) 4416。稲田駅下車。

「会館とどろき」3月5日(水)17日(月)川崎市立障害

学習・文化情報

学習・文化情報

探していた講座がある



児学校児童生徒作品展。壘・市立養護・田島養護学校の児童生徒の作品。問い合わせは☎(733)3333の同会館。障害児学校作品展三校連絡会主催。

「ギャラリー幸」3月7日(金)〜12日(水)近隣展。商店のおじさん、おばさん、ご隠居さんの余技を展示▽28日(金)〜4月2日(水)仏像仏画展。☎(555)8181。川崎駅西口下車。

「中村正義の美術館」3月1日(土)〜4月6日(日)前期・日展時代。「木」写真真など習作時代から日展脱退までの作品展示。今年中村正義の没後20年。同館では、正義の日展時代から没年までを3期に分けて所蔵作品を公開する。一般500円、学生300円、小中学生200円。☎(953)4936。読売ランド前駅からバス。

スポーツ

「スポーツ教室生徒募集」川崎市民プラザ」4月から始まる水泳教室(幼児・児童・成人・女性クラス)▽体操教室(幼児・児童クラス)▽体力づくり(成人クラス)で入会金5千円、月会費4〜5千500円。申し込みは3月1日(土)から☎(888)3131の同プラザへ直接来場。

講座・講演

「やさしい先端技術講座」環境時代と製品開発◆東芝科学館」3月13日(水)10時〜13時半から。省エネ、省資源、リサイクル化の環境調和型製品に向けた幅広い取り組みを紹介。無料。定員は各250人。申し込みは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「Windows 95中級セミナー◆登戸ドレスメーカー学院」3月29日(土)30日(日)13時から。対象は一通りの基本をマスターした人。

さらに一段上のユーザーに必要な知識を実験で。受講料はテキスト代込み1万円。定員先着15人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同学院。向ヶ丘遊園駅下車。

「趣味の教室◆川崎市民プラザ」常設している教室の受講生募集。アートフラワー▽フラワーデザイン▽コーラス▽ジャズダンス▽盆栽▽エアロビクス▽ビュティヨガ▽レザークラフト▽パッチワーク▽ペン習字▽茶道(表千家、裏千家)▽生け花(池坊、草月流)▽和裁▽着物の着付け▽時代舞踊着付け▽太極拳▽水彩画▽鎌倉彫▽日本画▽煎茶道▽自彊術。入会金3千円、月会費4千円。申し込みは☎(888)3131の同プラザフロントへ直接。

「緑の教室◆市緑化センター」5月7日〜来年4月1日の月1回、主に第1水曜13時半から、全12回。園芸全般について基礎知識の講義と実習。対象は市内在住者。受講料4千円、教材費は別。定員40人(抽選)。

申し込みは4月9日(水)13時半に☎(911)2177の同センターへ来場。

「高校生ワークキャンプ」社会福祉施設体験学習◆川崎授産学園」3月26日(水)13時〜28日(金)12時、2泊3日。障害者への理解と認識を深め、社会的視野を培う。対象は市内在住の高校生。参加費4千円。定員25人(抽選)。申し込みは3月14日(金)までに☎(233)1907の市社会福祉協議会。

「天文講演会「今春、地球に大接近」ヘル・ポツブ彗星」◆市青少年科学館」3月22日(土)16時半から。有史以来、2番目に明るい同彗星について国立天文台の渡部潤一さんが解説。無料。定員200人。申し込みは往復はがきに、住所、氏名、電話番号を記し〒2144多摩区枳形7の1の2、同館。☎(922)4731。

「桜美林大学オープンカレッジ春期語学講座の受講生募集◆同大学」4月中旬から始まるスペイン語▽ロシア語▽フランス語▽ドイツ語

消費生活アドバイザー資格試験準備セミナー

受講者募集中

日程——4月3日〜9月18日の木曜、全23回
時間——13時半〜16時
会場——川崎市生涯学習振興事業団研修室
(小田急線新百合ヶ丘駅下車)

受講料——30,000円
教材費——31,000円(産能大通信講座テキスト)
定員——50人

◆申し込み・問い合わせは10〜17時に ☎(952)5000の川崎市生涯学習振興事業団

学習・文化情報

参加したい催しがある

ツ語▽ポーランド語▽イン
ドネシア語▽タイ語▽コリ
ア語▽カンボジア語▽アラ
ビア語▽エスペラント語▽
英語▽中国語の各講座で、
いずれも週一回土曜で期間
は3ヵ月。1回の講座時間
は英・中国語が180分、
他は90分。入会金2千円。
受講料は英・中国語が3万
6千円、他は1万8千円。
テキスト代別。問い合わせ
は☎0427(97)266
1内線276の同大学生涯
学習センター。JR淵野辺
駅からバス。

〔現代のお葬式をレイア
ウトする◆エポックなかは
ら〕3月14日(金)14時から。
一般的な葬儀、ユニーク葬
儀について出口明子・おふ
いすでぐち代表取締役が話
し、自分らしいライフブラ
ンニングの参考に。和
菓子・日本茶付き千5百円
定員先着30人。申し込みは
3月8日(土)までに☎(58
8)7929の庄司さん。
T・C・Pブレス主催。

〔麻生地域セミナー〕ま
ちはミュージアムパートIII
◆麻生区役所ロビー他〕3

月17日(月)・21日(金)同所。自
然、歴史、文化遺跡の写真
スケッチを展示▽23日(日)14
時から、麻生市民館。同セ
ミナー企画委員の1年間の
活動報告や講演会。無料。
申し込み不要。問い合わせ
は☎(951)1300の
同市民館。

催し




〔春休みイベント〕工作
教室①乾電池②紙コプター
③紙トンボ④プラ板◆東芝
科学館〕①は3月24日(月)25
日(火)。対象は小3以下②は
26日(水)27日(木)。対象は小3
以上③は28日(金)29日(土)31日
(月)。対象は6歳以上④4月

1日(火)2日(水)。対象は小3
以下。いずれも10時と13時
半から。教材費は①4百円
②850円③④無料。定員
は各①②50人③60人④20人。
写真は昨年。参加賞、
景品あり。申し込みは☎(5
49)2200の同館。川
崎駅からバス。

〔1星を見る夕べ②生田
緑地ミニ観察会③自然観察
会◆市青少年科学館〕①は
3月8、15日の土曜17時50
分、同館集合。土星、星団、
月を眺望。雨、曇りはプラ
ネタリウムで星の話②は3
月16日(日)8時50分、同緑地
東口駐車場集合。野鳥観察
▽同13時20分、同館集合。
地質観察。雨天決行③は3
月22日(土)9時50分、同館集
合。生田緑地の雑木林を歩
く。先着20人。雨天中止。

いづれも無料。小学生以下
は要保護者。②③は筆記具、
図鑑、ルーペ、双眼鏡持参。
申し込みは③のみ3月5日
(水)9時から☎(922)4
731の同館。

〔川崎市民俗芸能発表会
◆多摩市民館〕3月9日(日)
10時から。演目は宮内春日



神社雑子▽禰宜舞▽新城郷
土芸能雑子曲持ほか(写真
は昨年)。無料。問い合わせ
は☎(200)3306の
市教委文化財課。

〔青春映画と70年代◆市
民ミュージアム〕3月8日
(土)A:16歳の戦争、B:博
多っ子純情▽9日(日)A:コ
ッド・スピード・ユー・ビ
ack Emperor、
B:星空のマリオネット▽
15日(土)A:悲歌(エレジー)、
B:その後の仁義なき戦い

加藤登紀子チャリティーコンサート

3月6日(木)午後6時30分開演
麻生文化センター 全席自由3,500円
(小田急線新百合ヶ丘駅下車)

●曲目●
百万本のバラ、蒼空、池、
そこには風が吹いていた

■問い合わせ 川崎いのちの電話事務局 ☎(434)0253
主催/社会福祉法人川崎いのちの電話後援会 後援/川崎市、川崎市教委ほか

学習・文化情報

楽しいイベントがある



川崎市民プラザ 3月8日(出9日)10時から生け花、茶道、絵画、陶芸、パッチワーク展▽9日(日)13時半からコーラス、太極拳、着付け、エアロビクス、ジャズダンスの発表。無料。問い合わせは☎(888) 3131の同所。

▽16日(日)A:同棲時代・今日子と次郎、B:天使を誘惑 写真。上映開始はAは13時半、Bは16時。料金は大人500円、小中学生300円。入れ替え制で定員各270人。問い合わせは☎(754) 4500の同所。

「春休みイベント①川崎市ロボット競技会優勝ロボット展示②ロボット講座③アニメ映画◆東芝科学館」
①は3月24日(月)～4月4日(金)30日(日)を除く。操作、競技あり②は3月25日(火)11時から③は3月28日(金)29日(土)10時と13時半から。無料。参加賞、景品あり。問い合わせは☎(549) 2200の同館。川崎駅からバス。 「趣味の教室」発表会◆



先着百人。申し込みは☎(844) 2101の同館。
①サザエさん展②紙芝居上演「かきじょう」「ちいさなきかんしゃ」◆東芝科学館 ①は3月3日(月)～4月4日(金)、ビデオ上映やセル画コーナー②は3月3日(月)～19日(水)の午前、午後の1日2回で、大画面の紙芝居。無料。毎週日曜と祝日、15日は休館。申し込みは②のみで☎(549) 2200の同館。川崎駅からバス。

「春休みイベント②ゲーム①ビンゴ②ボーリング③パソコンバズル◆東芝科学館」①は3月24日(月)～29日(土)10時半と14時から②③は4月1日(火)～4日(金)で②10時半と14時から③11時と15時から。無料。参加賞、景品あり。問い合わせは☎(549) 2200の同館。川崎駅からバス。

「川崎山王祭りの宮座式」特別試写会◆市民ミュージアム 3月23日(日)14時から。県無形民俗文化財の同宮座式のビデオ上映と後藤淑・昭和女子大教授の講演。無料。先着270人。川崎

山王祭りの宮座式 写真 8月1～3日、川崎区の稲毛神社の行事。申し込み



は3月11日(火)9時半から☎(200) 3306の市教委文化財課。

「かわさき演劇まつり」
「よだかの星」「雪渡り」◆幸市民館 3月22日(土)14時～18時から▽23日(日)10時半と14時から。宮澤賢治作、若林一郎台本、室野定子演出。大人千200円、中学生以下(小人) 800円。定員各8百人。申し込みは往復はがきに住所、氏名、電話番号、希望の観劇日時、申し込み人数(5人まで) 大人、小人の区別を記し〒211幸区古市場2の109、川崎

演劇協会内・同まつり実行委。問い合わせは☎(511) 4951の同実行委。

①麻生子育て交流集会
②あさおサークル祭◆麻生市民館ほか ①は3月25日(火)10時半から。同館で親子体操▽麻生保健所ではなし会とパネルシアター。対象は就学前の子と親。無料。当日直接会場へ②は3月29日(土)30日(日)10時から。同館で活動するグループの発表▽展示▽公開講座▽フリーマーケットなどで一部事前申し込みが必要。フリーマーケットは食品、電化製品を除き、先着130件。その申し込みは、3月4日(火)から往復はがきに住所、氏名、電話番号を記し〒215麻生区万福寺1の5の2、同市民館。問い合わせは☎(951) 1300の同館。
「生涯学習交流集会」生涯学習でひろがる仲間たち◆麻生市民館 3月22日(土)13時から。市民が主体的に学習できる環境づくりや外国人市民との共生・支援ネットワークについて考える。学習グループからの活動報

学習・文化情報

魅力的なグループがある

会員募集

告と情報交換▽外国人市民のスピーチと日本人の外国語スピーチなどを通して、地域での国際交流・共生・支援の在り方について話し合う。ミニコンサートも。無料。問い合わせは☎(951)1300の同館。

●宮前ウインド・オーケストラ《宮前区小台1の19の5の308、堀木かほり代表》地域に根差した演奏活動を通して、レベルの高い音楽づくりに挑戦していません。レパートリーはクラシックからポップスまで。楽器を持っていて高校生以上で、通える方ならどなたでも参加を。練習は月2回、主に水曜18〜21時、宮前文化センターほかで。入団費5千円、月団費2千5百円。連絡は☎(853)1451の代表宅。

特典もあります。年会費は来年3月31日まで有効で一般3千5百円、学生2千5百円。申し込みは☎(953)4936の同館

●読売ランド前駅からバス

●つるかわ中国文化研究所

サークル《町田市能ヶ谷町152-1の58、田井光枝代表》「京劇をまるごと知ろう／まるごと楽しもう」を合言葉に毎回趣向を変えた「京劇を楽しむ講座」を開いています。講師は股秋瑞・東京劇団副団長や元俳優、中国演劇研究者です。いつでも見学OK。講座は毎月第3金曜19時から、麻生市民館で。入会金千円。受講料は毎月の活動費込みで千5百円。問い合わせは☎044(953)3622の川口まで。

読者の声

小誌見て6人が応募
スナップ写真に感謝
木月拳美会

浅川千江子さん
昨年、私たちの会を「はりきってます グループ紹

介」に掲載して下さりととても幸せに思っていましたのに、思い出にスナップ写真を下さり、重ねがさねの心遣い、ありがとうございます。会員たちは、とても喜んでいきます。また、「ステージ・アップを見て」という6人の応募があり、今でも4人来てくれています。あれから、私はネリンピックで宮崎へ行き、生徒の技能検定でアドバイスをしました。

10周年迎え、多くの人々の支持実感

「川崎いのちの電話」事務局 岡田さん

「Stage Up」新春号の学習・文化情報コーナーに「川崎いのちの電話」の相談ボランティアだけでなく、資金・奉仕部のボランティアについても詳しく載せていただき感謝しております。「川崎いのちの電話」は、昨年12月1日に開局10周年を迎えました。10年間活動を継続してこられましたのは、相談ボランティアが一日も休むことなく電話に出続けたのはもちろん、

ミニニュース

4月末から

土曜上映会

日本映画学校(理事長・今村昌平監督、小田急線新百合ヶ丘駅前)は、4月末から毎週土曜日に(12回を予定)公開講座「土曜上映会」を開く。

市民への公開は初めてで、同校の学生と一緒に午前が映画観賞、午後がフランスや韓国の映画監督、映画評論家の佐藤忠男・同校校長らの講演を聴き質疑も。上映作品は「神々の深い欲望」などの日本映画代表作やアジア映画の秀作、フランス映画祭出品作品。

同校は「公開講座「土曜上映会」を市民に公開することについて「学生は受け身になりがち。市民の映画への情熱や反応に触れることは、映画づくりを学ぶ人間として刺激になる。また、

今後の映画づくりに役立て、映画ファンが増えれば」と話している。

入場無料。事前申し込み。詳しくは小誌4月号で。問い合わせは☎(951)2511の日本映画学校(N)。

14コーラスが競演

多摩区新総合庁舎が落成

新しい多摩区総合庁舎が1月オープンし、同21日の夕、多摩市民館・図書館新館落成記念「コーラスのつどい」が市民館ホールであった。

多摩・麻生区の「コーラス銀の会」多摩高校合唱部「ゆりがおが児童合唱団」など14団体が出演、木の香りがする真新しいステージで、ハーモニの響きを確かめるように歌った。

辻正行・全日本合唱連盟副理事長は講評の中で「いつでもクラシック演奏が聴けるホールになるよう努力しましょう」と出演団体を励ました(Y)。

宮前の歯科医が協力
小誌配布場所増える

このほど、小誌配布場所に「ヒルス歯科クリニック」

(田園都市線鷺沼駅から徒歩7分、鷺沼小横)が、仲間入りした。

クリニツクと小誌の橋渡しは、治療用消毒液などを扱う材料屋さんで、同クリニツクの関口さんが「ちょっと変わった冊子があるよ」と教えてもらい、患者さんにも読んでもらいたい」と編集チームに電話をした。

小誌は、市内200カ所配布。他区に比べ宮前区は少なく、熱心な読者から配布場所拡充の要望が寄せられている(Y)。

赤筋ウオーキングで肥満・成人病を追放

肥満は成人病の温床。特に、おなか全体が出っ張っている「リンゴ型」の内臓肥満は危険。いま、注目されている「赤筋ウオーキング」はスポーツ医学に裏付けられただれでも出来るダイエット。そのやり方は①汗がしつとりと浮かぶ程度で歩く。息が切れるような歩きは逆効果②ひじを90度に曲げコンパクトに振り歩く③脂肪が燃え始めるのは15分からで、30分から最高

多摩区総合庁舎完成記念

ザルツブルク・モーツァルトウム・クワルテット & 菅野潤(Piano) 演奏会

3月25日(火)
午後7時開演

多摩市民館大ホール

向ヶ丘遊園駅から徒歩5分
入場料3千円(全席自由)
チケット前売中
・主催 川崎市教委
当事業団他

問い合わせ
☎200-2122の
同実行委



- 演奏曲目**
- モーツァルト●
弦楽四重奏曲第17番「狩」
ピアノ四重奏曲第1番ト短調
 - シューベルト●
弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」

潮に。30〜60分歩く④週2、3回歩き、習慣にする。湯浅影元・中京大教授(運動生理学)らのおすすり「日刊ゲンダイ」1月24日付から(T)。

訂正とおわび 新春号のもくじ下「新百合パソコン講座受講者募集」の置線の

一部が切れていました。また、9ページ「はりきってます グループ紹介」「サークル・バラセンクサルプリの会」の中の「明石園子さん」を「赤石園子さん」に、裏表紙の「開設講座一覧」の「No.6ま4時間」を「No.6は4時間」にそれぞれ訂正して、おわびします。

編集後記

三月五日は「啓蟄」▼冬ごもりしていた虫が、はいる春の訪れを意味する▼虫といえは、

「一寸の虫にも五分の魂」との金言がある▼弱者にもそれなりの意地がある、という意味に使われる▼今号の「いまを話す」で、室伏さんが「市民デモクラシー」の大切さについて話しているが、一寸の虫にも五分の魂を市民一人一人が実践することが、その第一歩のようだが、その第一歩のようだが、約五百通の年賀状をいただいたが、形式的なものも少なく、わが身を振り返って反省した▼だが、二百人を超える読者からの賀状には、心温まる添え書きがあり、元日から励まされた▼その一部を紹介する▼ステージ・アップを見ていますとガンガン、シャカリキのさまが見えるよう▼風の便りで、ステージ・アップのり●ト●を知り大変と思いました。私に出来ること、

なんでもします。●●●●はそのことご存じ▼いまを話すの横溝さん、大西さんに感激。女性ゲストを多くして。遅くなつてごめん▼●部分は脱字ではなく、自己規制▼先日、小誌スタッフが発行した「自分史文集」を取材した際、昨春、同会が発行した「自分史文集『みのり』第三号」を手渡された▼戦後五十年にちなんだ出征、空襲、焼け出され、終戦などの自分史▼戦争を知らない小中学校の教諭も多くなり、子供たちの中には、日米が戦火を交えた事実さえ知らない▼「みのり」は戦争体験記録として貴重▼B5判八十九ページで、「中高年会員がワーブルを打つのは大変」と思ったら、「高津市民館の長田さんが全部打ってくれて」と笑顔の会員▼ボランティア精神盛んな職員に支えられ、文集は出来上がったのだ▼市民と市職員との心が触れ合う「学びあい、高めあい、助けあう生涯学習」のちょっといい話(田)。

(3ページに市民アカデミー聴講生募集案内があります)

かわさき市民アカデミー

聴講生募集の講座

講座は4～7月。各講座10～14回。1回の講座時間は1時間20分。No.6は4時間、No.9・20は2時間、No.21は3時間

No.	講座名	講師	曜	時間	会場
1	時を生きる	哲学者 内山節さん	月	9:30～	中小企業・ 婦人会館 (武蔵小杉)
2	道元～自然としての人間、その生と死(1)	森本和夫 東京大名誉教授	月	11:00～	
3	丸山眞男・知の巨人が見た日本の政治	宮村治雄 都立大教授	月	9:30～	
4	変動するアジアと日本の役割	萩原宜之 獨協大教授	月	11:00～	
5	メディアと社会	吉見俊哉 東京大助教授	火	10:30～	屋外で
6	川崎の自然観察～春・夏編	斎藤博 国立公園指導員	火	10:00～	
7	中国山水画～水墨と着色の対立・融合	小川裕充 東京大教授	水	10:30～	新百合21ビル
8	朗読の面白さと難しさ～話すときく	江藤文夫 成蹊大名誉教授 他	水	10:30～	中小企業・ 婦人会館
9	川崎の歴史と地誌(1)	村上直 法政大名誉教授 他	水	13:00～	
10	小説の構造	村田経和 学習院大教授 他	木	10:30～	新百合21ビル
11	乗り物の科学～安全であるために	東昭 東京大名誉教授 他	木	10:30～	中小企業・ 婦人会館
12	日本音楽のなぜ～邦楽の魅力と秘密	竹内道敬 国立音楽大教授	木	10:30～	
13	日本人の死生観～文学作品を中心に	立川昭二 北里大名誉教授	木	10:30～	
14	21世紀の経済・暮らしと環境を考える	宮川公男 麗澤大教授 他	金	9:30～	
15	地域文化と経済～アジアの多様性	後藤晃 神奈川大教授 他	金	11:00～	日本女子大学 生涯学習 センター (西生田)
16	生活とはなにか (生活学概論)	一番ヶ瀬康子 東洋大教授 他	金	9:30～	
17	高齢者福祉～保健・医療の場から	一番ヶ瀬康子 東洋大教授 他	金	13:20～	
18	居住環境と福祉を考える	小川信子 日本女子大教授 他	金	13:20～	新百合21ビル
19	<small>その</small> 園学 (造園学) 入門	造園設計家 野沢清さん 他	金	10:30～	
20	自治体・川崎市の基本問題を考える	今井克樹 ジャーナリスト 他	土	10:00～	中小企業・ 婦人会館
21	市民参加のまちづくり～技法と実践	世田谷まちづくりセンター スタッフ他	土	13:00～	

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
 〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
 電話 044(952)5000代 FAX 044(952)1350
 編集人・田中 園